

## (3) 福岡市

### 国境を越えた交流による経済活性化

福岡市副市長 高田 洋征

#### 福岡市の概要

福岡市は、日本の中で他のアジア地域にもっとも近い大都市として、その地理的な優位性や、二千年にわたるアジアとの交流の歴史を活かして、国際ビジネスや研究開発などの都市機能を高めながら、物流・貿易・観光・文化などの分野で東アジアに積極的にアプローチすることにより、「アジアの交流拠点都市」を目指している。

#### 国境を越えた交流による経済活性化の重要性

現在、世界で、新しい活気を生み出し、大胆な変革を成功させている都市に共通する特徴の一つは、隣接する地域と国境を越えた地域連携に積極的であるという点である。例えば、北ヨーロッパのバルト海沿岸では、ヘルシンキやコペンハーゲンなど、人口 100 万人ほどの個性を持った都市が連携して、国境を越えた経済圏を形成し、世界企業も輩出している。

#### 1. 福岡・釜山超広域経済圏

福岡市と、海峡を挟む大韓民国第二の都市、釜山広域市との間には、空路・海路で、年間 90 万人もの往来があり、両市は日常的な交流が盛んなエリアとなっている。「福岡・釜山超広域経済圏」は、韓国の李明博大統領の公約も踏まえて、釜山広域市の提案に、両市の市長、商工会議所会頭が合意したもので、

- ・ 国際競争力の向上
- ・ 地域活性化
- ・ 国境を超えた地域連携のモデルとして、北東アジアの新たな発展軸の形成

に取り組み、将来的には、九州・韓国東南圏を含めた一つの経済圏を形成しようというものである。超広域経済圏の形成に向けた両市の協力事業は、4つの基本方向と9つの「戦略」により構成されている。

#### <4つの基本方向>

- ・ 「未来志向のビジネス協力促進」：将来を見据えた産業連携・協力の推進を図るもので、「企業間協力の環境づくり」などの4つの戦略を掲げている。
- ・ 「人材（海峡人）の育成・活用」：両国で活躍する国際人材の育成・輩出を図るもので、「若き人材（海峡人）の育成」などの2つの戦略を掲げている。
- ・ 「日常交流圏の形成」：両都市の市民が不自由なく往来できる地域の形成を図るもので、「交流圏形成の環境づくり」などの2つの戦略を掲げている。
- ・ 「政府への共同要望」：超広域経済圏の実現を促進するための制度・資金支援等に関する要望を行う。

### <具体的な事業例>

- 「経済協力事務所の相互設置」：8月に福岡市と釜山広域市にそれぞれ経済協力事務所を開設し、両市の産業情報・企業情報の提供などを行なっている。
- 「鮮魚市場を始めとした市場間交流」：2009年に両市の鮮魚市場が姉妹提携を行い、両国の水産物の流通・消費動向や水産物の状況、食文化などの情報交換を行うこととしている。
- 「小学校の副読本を活用した授業」：両市の小学校で、20年来の両市の交流を中心に、お互いの市について学ぶカリキュラムを採用し、相互理解を促進している。
- 「自動車関連産業の交流促進」：部品購買商談会・展示会等を利用した自動車部品産業間の交流などを行っている。

## 2. 北東アジアにおける「観光交流圏」の形成推進

本市においては、積極的な観光客の誘致による、消費拡大とさまざまな産業への波及効果を創出し、経済活力を維持していくことが重要となっており、内外からの観光客誘致に力を入れている。

2010年末の韓国高速鉄道KTXの開通につづき、2011年春に、九州新幹線が全線開通する予定で、九州そして、韓国における人・ものの流れが大きく変わってくることになる。また、中国発着大型クルーズ客船の福岡市への来港の急増に加え、個人旅行ビザの緩和により、中国との結びつきも強くなってきている。

そのような背景のなかで、「韓国・釜山との連携」、そして「中国・クルーズ客船の定着化」を、本市への集客拡大に向けた戦略の柱として取り組み、九州と韓国、そして中国のネットワークを強めていくことで、「北東アジアの観光交流圏」を形成していきたいと考えている。

### 2.1 釜山広域市との共同観光プロジェクト「釜山・福岡アジアゲートウェイ 2011」

福岡市と釜山広域市とは、圧倒的に近い距離的優位性を活かし、国内外からの誘客に共同で取り組んでいる。これまでに、テレビ番組やドラマの共同制作・放送や、プロ野球の交流試合の開催など、両市が連携したコンテンツを制作するとともに、両市を「ひとつの観光エリア」として、中国の上海や瀋陽、広州、韓国・ソウルなどでプロモーションを共同開催している。

今後も、このエリアの魅力を高め、内外に広く発信していくことにより、両市を周遊する観光商品の開発など、地域ブランド化に向けて取り組んでいく。

### 2.2 クルーズ観光の振興

中国発着のクルーズ客船の博多港への寄港回数は、今年は66回、定員ベースで約12万人と、昨年約3倍に増加している。クルーズ船の寄港により、中国人を始め多くの外国人観光客が、福岡を訪れているが、その経済波及効果は約29億円と試算されており、来年以降の定着化に向け、観光客の満足度を高めることに力を注いでいる。

## 3. ファッション・ゲーム関連産業の振興とアジア・世界との交流

福岡市は、繊維関係の卸・小売業等の厚い集積基盤があり、ファッションに関する人材育成機関も集積していることから、大きな経済波及効果を生み出す可能性のあるファッション産業を支援している。

2008年3月に、市、県、商工会議所、アパレル企業等が一体となった「福岡アジアファッション拠点推進会議」を組織して、福岡がアジアにおけるファッションの一大拠点となることを目指し、ファッションショー「福岡アジアコレクション『FACo（ファコ）』」や合同展示商談会を開催して、地元ブランドを国内外に向けて発信している。

特に、2009年は台北市でミニコレクションの開催、大連市ではファッション祭りでFACo（ファコ）のPRブースを設置するなどアジアに向けて情報発信を行った。今年も8月にハノイ市でファッションショーを行い、秋には台北市でのプロモーションを予定している。

また、福岡市には、約20社のゲーム関連企業の集積があるが、関連産業のさらなる集積を目指し、この分野では日本初の産学官連携組織である「福岡ゲーム産業振興機構」を設立し、人材育成事業、ゲーム関連企業誘致、広報イベント「ゲームフロンティア in 福岡」などを実施している。

また、ゲーム産業振興に取り組む海外の都市との交流にも力を入れている。釜山広域市とは、ゲーム産業振興のための日韓共同セミナーに参加し、また、韓国最大規模のゲームイベント「G-STAR（ジースター）」で「釜山ー福岡ゲーム共同館」を設置して、ゲーム関係者との交流や両市のPRなどを行った。このほか、オランダのユトレヒトや、シアトル、バンクーバー等との交流も進めており、福岡のゲーム産業の国際化とさらなる発展を目指している。

#### 4. アジア人材育成の拠点形成

これまで、環境や水不足、高齢化対策などの都市問題を解決してきた本市の持つノウハウを、現在同様の問題が起きつつあるアジア諸国の問題解決に活かしていくため、アジア人材育成拠点の形成を目指している。これにより、人脈ネットワークをつくることにより、本市の経済活性化につなげていきたいと考えている。

その人材育成拠点化の一つの事業として、福岡市は2009年より「国際視察・研修受入」事業に取り組んでいる。本市が持つ住み良い都市づくりのノウハウの中で、「都市デザイン」、「高齢者福祉」、「水資源」、「環境・廃棄物処理」、「消防・防災」の5分野を設定し、韓国・中国などから視察・研修を受け入れている。このような取り組みは、日本の都市の中でも初の試みであり、今後も体制の強化など事業を展開していくこととしている。

#### 5. グローバルな都市間ネットワーク「国際地域ベンチマーク協議会」

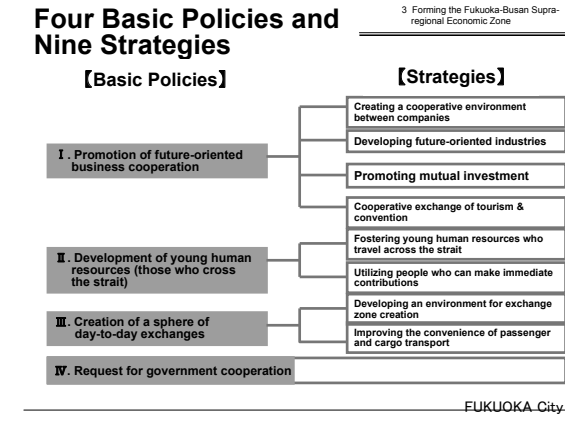
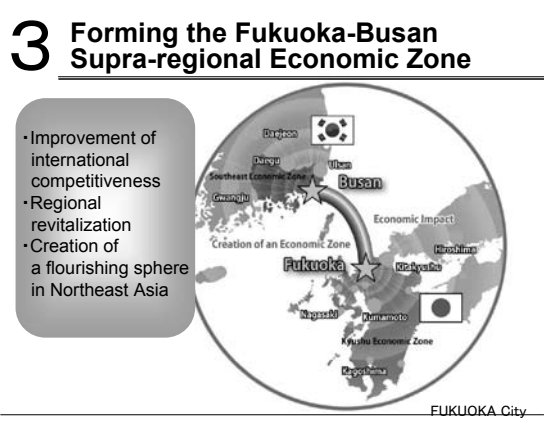
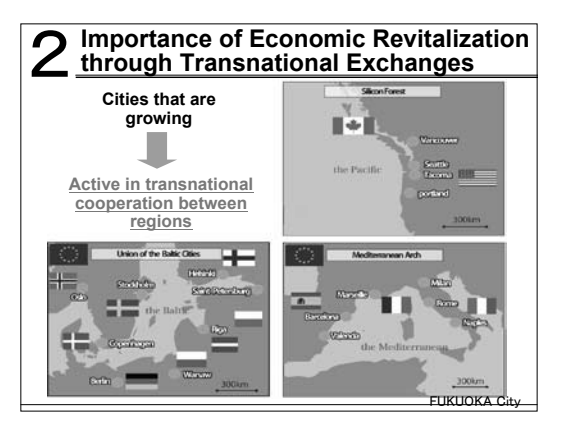
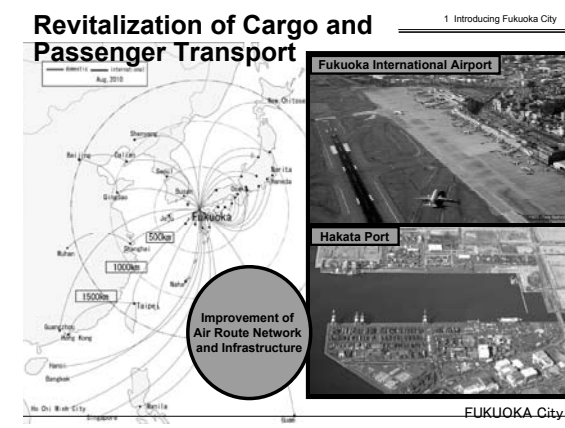
この協議会は、人口や経済特性が似通った地域・都市圏の集まりで、バルセロナやシアトルなど世界の10地域で構成している。いずれも、世界的な巨大都市ではないが、一定の都市規模を誇り、産業構造が似ており、住みやすさなどに定評ある都市を中心とした地域である。

この協議会では、各地域のデータやまちづくり事例などを意見交換し、お互いに学びあうことを目的としている。それにより、自分たちのポジションを確認し、今後のまちづくりに反映させ、ひいては国際競争力の向上を図ることが可能となる。

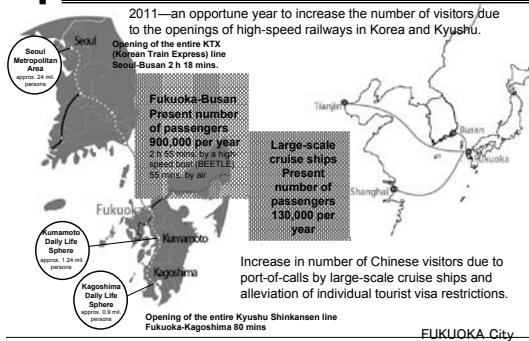
シアトル、バルセロナに引き続き、今年は7月に福岡で年次会議を開催した。福岡を含む世界の9地域の代表者、60人が参加し、ナレッジ・リージョンズをテーマに、活発に意見を交換し、互いに学びあった。

この国際地域ベンチマーク協議会(IRBC)に福岡市が参加することにより、4つの意義があると考えている。まずは、協議会の趣旨である「学びあい」に基づき、「福岡が他地域から学ぶこと」、それから「福岡の成功例を他地域へ発信」することである。次は学んだことを今後のまちづくりに反映させ、良いまちになることで、結果的に「本市の知名度の向上」が期待できる。さらには、これらの協議会加盟地域との交流を、「経済交流・企業交流から企業誘致」へつなげ、福岡市の経済活性化に貢献していきたいと考えている。

以上、「国境を越えた交流による経済活性化の取り組み」をテーマにお話ししたが、今後も、海峡を挟んで隣接する釜山広域市との取り組みをはじめとして、様々な海外都市との交流により、集客・物流・貿易・投資などの振興を図り、本市のアジア太平洋地域における拠点性を高めてまいりたい。



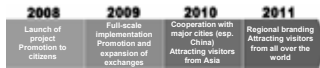
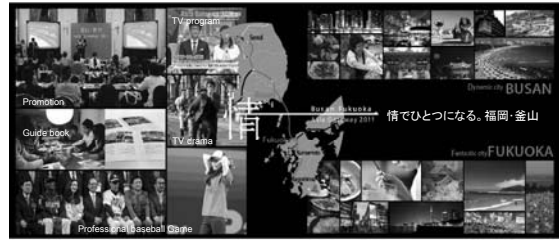
## 4 Promotion of the creation of a "Tourism Exchange Zone" in Northeast Asia



## Busan-Fukuoka Asia Gateway 2011 Campaign

4 Promotion of the creation of a "Tourism Exchange Zone" in Northeast Asia

A collaborative tourism project by Busan and Fukuoka as one tourist destination through welcoming visitors from home and abroad with heartfelt hospitality while deepening our relationship.

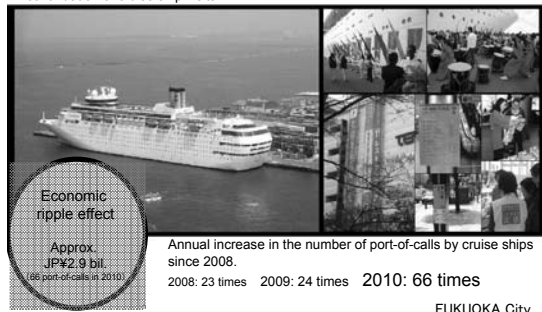


FUKUOKA City

## Promotion of Cruise Ship Visitors

4 Promotion of the creation of a "Tourism Exchange Zone" in Northeast Asia

Enhancing satisfactory hospitality system for tourists in order to guarantee the continuation of cruise ship visits.



## 5 Promotion of Fashion and Game Industries and Exchanges with Asia and the World



## Fashion Industry Expanding into Asia

5 Promotion of Fashion and Game Industries and Exchanges with Asia and the World

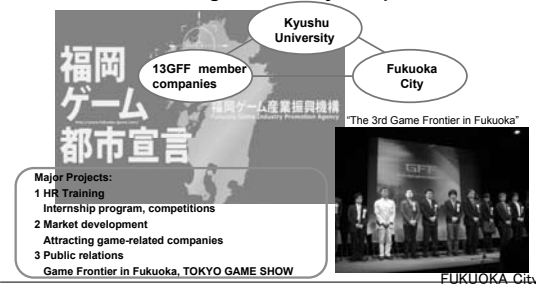


## Fukuoka Game Industry Promotion Agency

5 Promotion of Fashion and Game Industries and Exchanges with Asia and the World

—To develop Fukuoka as a gaming city to which the rest of world can aspire

**First government-industry-academia collaboration in the game industry in Japan**



## Exchange with cities overseas

5 Promotion of Fashion and Game Industries and Exchanges with Asia and the World

OBusan Metropolitan City, Korea (Fukuoka's sister city)

Exchanges through "Korea-Japan Joint Seminar" and "G-STAR2009," the largest game festival in Korea.

OUtrecht and Leeuwarden, The Netherlands

(leading cities in "serious games")

\*Educational and medical games with societal benefits  
Presentation on Fukuoka city's projects at a game festival held in Utrecht.  
Lecture by a professor of Utrecht School of the Arts at a symposium on serious games held in Fukuoka.

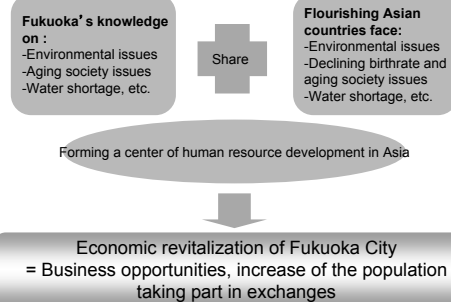
OSeattle and Vancouver (game industry clusters in North America)

Feasibility survey on business exchange (supported by JETRO)

**Fukuoka aims to a leading city in serious games!!**

FUKUOKA City

## 6 Forming a center of human resource development in Asia



## Fukuoka City Visit and Training Program

6 Forming a center of human resource development in Asia

### ●Purposes

- International contribution
- Networking
- Raising the profile of Fukuoka

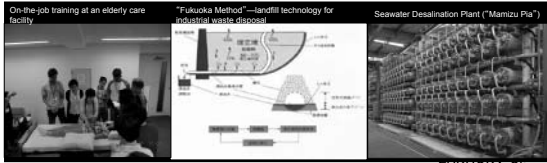
### ●Five fields of service



### ●Future plan

- Cooperation with other cities, universities, organizations, companies, etc.
- Expanding the fields of service

Visit and Training Program—First-ever challenge among the cities of Japan



FUKUOKA City

## 7 International Regions Benchmarking Consortium

International Regions Benchmarking Consortium (IRBC)  
An international network of 10 regions with common economic features and similar in size. A community of regions with a knowledge-oriented economy similar to Fukuoka.



### ○10 member regions

- Barcelona (Spain)
- Dublin (Ireland)
- Daejeon (Korea)
- Fukuoka (Japan)
- Helsinki (Finland)
- Melbourne (Australia)
- Munich (Germany)
- Seattle (America)
- Stockholm (Sweden)
- Vancouver (Canada)

FUKUOKA City

## Outline of IRBC and Conference in Fukuoka 2010

7 International Regions Benchmarking Consortium

### ●Purpose

To share and learn about each other's urban issues and successful cases for future city development and international competitiveness.

- To share and learn about each other's urban issues and successful cases for future city development and international competitiveness.
- Fukuoka is the only participating region in Japan. The 2010 annual conference was held in Fukuoka.

### ■Annual IRBC Conference

1st: June 2008 in Seattle with the theme of "The Innovative Region"

2nd: November 2009 in Barcelona with the theme of "Creativity and Talent"

3rd: July 7th-9th 2010 in Fukuoka with the theme of "Knowledge Region"

- Participants: approx. 60 delegates from 9 worldwide regions, from industries, academia, and governments.



FUKUOKA City

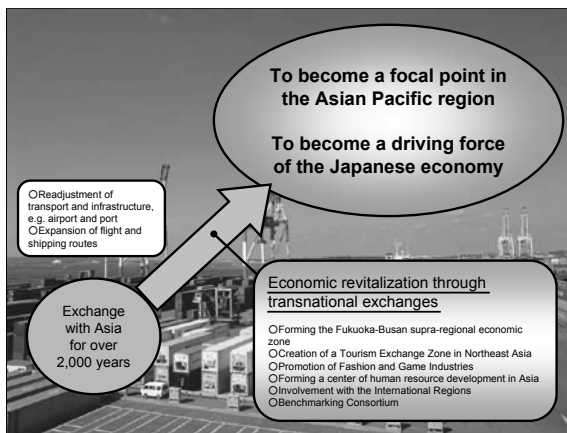
## Significance of the membership

7 International Regions Benchmarking Consortium

- To learn of successful cases from other regions
- To provide information on Fukuoka's successful cases to the world
- To raise Fukuoka's name recognition
- To attract international companies through economic exchange



FUKUOKA City



## (4) 光陽市

### アジア太平洋都市の持続可能な開発

#### 光陽市長 李聖雄

##### 光陽市概要

光陽市は朝鮮半島の最南地域の中央に位置する美しい港湾都市である。主力産業は鉄鋼業、造船業、港湾物流の3つ。鉄鋼業の中心は、年間 1740 万トンの鉄鋼を製造するグローバル企業ポスコ光陽製鉄所である。造船業は、今年完成したポスコ鋼板工場を中心に製造拠点が集合しており、年間 500 万トンを製造している。港湾物流は5万トンクラスの船舶用バース 16 基を有する光陽港コンテナターミナルが拠点となっている。

光陽市は、中・長期開発計画として「南海岸サンベルト」開発プロジェクトを実施しており、グローバルな物流拠点として、又、ワールドクラスの海洋観光リゾート地としての集約的成長を見込んでいる。

##### 国際コンテナターミナル

光陽港は 1998 年に第1期コンテナターミナルが稼働して以来、コンテナ取扱量は年々増加しつつあり、昨年のコンテナ取扱量は 181 万 TEU、世界 57 位になった。今年度は 200 万 TEU を超える見通しである。先進の流通システムを備えた環境配慮型の自由貿易港として、北東アジアにおける流通の中核拠点となるという目標を達成しつつある。

流通関連企業は既に光陽コンテナターミナル周辺地域への移転を開始しているが、光陽市はコンテナ輸送のさらなる拡大のため、製造企業の誘致を行っている。光陽コンテナターミナル及びその周辺地域は自由貿易地域に指定されており、最長 50 年間、賃貸料割引（3.3 平米当たり 1 ドル）などの優遇措置を受けられる。

現在、光陽港周辺の 900 万平米が自由貿易地域に指定されているが、最終的には 3300 万平米にまで拡張する予定で、光陽市はシンガポールや香港のような国際的な自由貿易通商都市への発展を目指している。

##### グローバル社会における地方都市の条件の変化

地方都市の国際競争力は、国家の競争力と直結しており、グローバル社会において地方都市は自らの役割を変えていかなければならない。国家のみならず地方都市も政策、経済、社会の変化の風向きに迅速かつ積極的に反応しなければならないのである。そして、相互依存の深化と経済競争の激化を特徴とするグローバル化が現在の主要な風向きとみなされている。

地方都市が国境内の与えられた役割のみを遂行していたのでは、発展の限界に直面することは必須である。アジア太平洋地域の諸都市がお互いの利益を共有できるような共通の方策を模索することが重要である。

したがって、地方都市間の国際交流は、友好関係を築き、礼節を示すことのみを目的とする交流にとどまらず、地方経済を活性化させるチャンスとして利用すべきなのである。こうした交流により、地方政府は、都市の条件に適し、市民のニーズを満たすことができる独自の発展を推進することが可能となる。であるから、このサミットが都市間の国境を越えた交流や相互協力を通じた地方経済活性化の方策を議論する機会となることを期待している。

## 光陽市の事例の紹介

### 1. 北東アジアのゴールデンルート開通プロジェクト

第1の事例として、光陽市は中国東北部の2つの都市と提携し、北東アジアのゴールデンルート開通プロジェクトに携わっている。これは、港湾物流の国際協力を進めるための新しい物流ビジネスモデルを構築するとともに、光陽港と中国東北部の港を結ぶ路線開通により港湾活性化を図るプロジェクトである。

2006年7月に光陽港と遼寧省営口市を結ぶ路線開通に関する協定を締結してから、韓国、中国で数回にわたり国際フォーラム、セミナー、実務者協議が開催された。

2009年に瀋陽市で開催された北東アジア開発フォーラムと2010年光陽市で開催された光陽港国際フォーラムの両会議では、「北東アジアにおけるゴールデンルート開通」と題したセッションが開かれ、専門家が綿密な協議を行った。

光陽港-営口港間のコンテナ船の運行のための具体的な交渉については、現在、両国の船舶会社と物流会社の代表者間協議に入っている。ゴールデンルートの開通により、各都市の地域経済が活性化されるとともに、光陽港の新規コンテナ取扱量の増加にもつながるだろう。

### 2. 光陽港と下関港の間のフェリー就航計画

第2の事例は、現在進行中の光陽港と日本の下関港の間のフェリー就航計画である。旅客700人とコンテナ180TEUを船積みできる1万5千トンのカーフェリー旅客船が、週3回、両港間を往復する計画である。フェリー会社と観光業界の予想では、フェリーの新規就航により韓国に向けた日本人旅行客の年間10万人の増加と農産品、畜産品、生鮮品などの1万TEUの輸送増加が見込まれている。フェリー路線開通により、都市観光業の振興と地方経済の促進が期待される。

### 3. 世界的な港湾都市との国際交流拡大

第3に、世界的な港湾都市との国際交流拡大に取り組んでいる。光陽市は国際的なコンテナターミナル港として、世界の主要港湾都市との友好的な交流と協力を開拓したいと考えており、今後、同じ方向性を持ち、協力を求めている港があれば交流を深めていく計画である。

国際交流拡大プロジェクトの一環として、2008年5月から日本の泉大津市との交流を進めている。泉大津市の産業インフラ構造は光陽市と似ており、経済モデルの評価事業や企業家同士の交流などの経済交流を実施している。この交流事業を通して、光陽市は梅の日本への輸出を開始し、光陽市の農産物の海外新市場開拓と農業収益の増加につながっている。

参考までに、光陽市は983ヘクタールで7922トンの梅を生産しており、韓国全体の梅の生産量の28%を占める梅の名産地である。光陽市の有機栽培の梅はクエン酸が豊富で、味も香りも申し分ない。毎年春、3月に開催される光陽国際梅花文化祭には大勢の観光客が内外から訪れる。

### 4. 国際イベントにおける経済交流事業

第4に、姉妹都市や友好都市が主催する国際交流展などの国際イベントに参加して、都市プロモーション、外国資本の誘致、投資家向け広報活動などの経済交流事業を行っている。例として、2006年から参加している中国、深セン市の国際ハイテク成果交易会や厦門市の国際投資貿易商談会で成果を上げている。今年11月に開催される第12回深セン市国際ハイテク成果交易会では、グローバル市場の開拓と投資の誘致を行うとともに、セミナーに参加して光陽市のU-IT研究所の成果を発表し、さらに産業・港湾都市である光陽市とその主要産物について市民自らが広報活動を行う予定である。都市間の相互協力は極めて重要である。こうした国際イベントに参加することで光陽市と光陽市の産業のイメージアップにつながることを期待している。



### アジア太平洋都市サミット参加各都市の交流を通じた経済協力に関する3つの提言

第1に、地方政府には、都市生産物の競争力強化と市場拡大のため、グローバル市場の開拓と輸出拡大を積極的に推進していただきたい。さらに、地方政府は資本、テクノロジー、人材という3つの生産要素の国際交流の拡大、ならびに産業技術の発展を通じて、低価格で高品質な製品の生産性向上を図るべきである。また、その土地の文化的特性、独創性、地方性を活かした競争力ある製品や産業の発掘、育成が求められる。都市間交流や製品宣伝活動、情報交換、優れた人材の誘致の機会、ならびに企業活動のサポートを提供する上で、国際都市間の相互協力システムの確立が重要な役割を担っていこう。

第2に、官民協同グループを派遣して、有望な輸入品や輸出品を発掘し、グローバル市場を開発していくとともに、交流都市の地方特産品を販売する常設展示場やブースを小売店やデパートに設置するための長期計画を共同で開発していくことを提言する。

第3に、コンテナターミナル敷地内に進出する機会をメーカーと物流企業の両者に提供するなど、収益性のある流通モデルを構築することで、参加各都市の港湾を直接結ぶネットワークを構築していただきたい。私は、現代の港湾における物流の状況に関する研究成果、港湾に関する情報、外国資本誘致の方法などに関する実務者協議の開催を切に望んでいる。



**Lee Sung-woong**  
The Mayor of Gwangyang City, the Republic of Korea

2002 ~Present : Mayor of Gwangyang(3 Consecutively elected)  
2009 : President of Korea Future Marine & Sea products Enhancement Forum  
2008 : Member of Presidential Committee on National Balanced Development  
1981~2002 : Professor at the Department of Industrial Engineering, Chonnam National University  
2001~2002 : Vice-Chairman of the Korea Intelligence Industry System Society  
1998~1999 : Vice-Chairman of the Koran Society for Quality Management

**Promoting Local Economy through Exchange with other cities by transcending boundaries**

- I . Introduction of Gwangyang City
- II . The changing conditions of global society
- III . Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities
- IV . The proposal of economic cooperation through exchange between member cities

**I. Introduction of Gwangyang City**

Major Industry

Port Logistics Industry

Gwangyang Port Container Terminal  
50,000ton of 16berths

**I. Introduction of Gwangyang City**

Mid and long-term development plan of Korean Government

Gwangyang city-Broad area Southern-coastal Sunbelt project

- A Hub for global logistics
- A world-class city for marine tourism and resorts
- Building Unified Infrastructure or trans-border Network

**I. Introduction of Gwangyang City**

Gwangyang Port International Container Terminal

Gwangyang Port-Ranked 14<sup>th</sup> in the world(Handling 2.03m tons in 2008)

Gwangyang Port International Container Terminal-Ranked 57<sup>th</sup> in 2008)

- Opened in 1998(4berths) → 1.81mTEU in 2009(16berths) → Over 200mTEU in 2010 → Aim to handle 12.45mTEU in 2020 (30berths, Ranked 10<sup>th</sup> in the world)
- Realizing a logistics-centered port in northwest Asia through the state-of-the-art logistics system, warehouse and free trade port

**I. Introduction of Gwangyang City**

Gwangyang Port International Container Terminal

Port hinterland Complexes in the rear of the container terminal port- 3.9m m<sup>2</sup>

- Logistics Companies moved in : 23 Companies
- Active Inducement of Manufacturing Companies to create cargo volume : 3 Companies now moved in.
- Designated as a free trade zone - Annual rental cost : 1 dollar per 33 square meters for up to 50 years.

Gwangyang Bay area Free Trade Zone : 9m square meters

- Planning to extend this to 33 million square meters
- Aiming to be an international free trade zone like Singapore and Hong Kong

**II. The changing conditions of global society**

Glocalization

The changing condition of the local government in a global society

- The international competitiveness of the local government is directly connected to national competitiveness in the changing global order.
- Various change of global roles of local cities
- The winds of change in politics, economy and society require active responses of the local cities as well as the nations.
- The increasing of mutual dependencies and interlinking of economic competition among local cities

## II. The changing conditions of global society

### Change of the exchanges among local cities

- The local governments fulfilling only their given roles within their institutional boundaries raise their limits in development
- The common measures to share their interests among the Asia-Pacific cities to strengthen the economic cooperation
- The most urgent goal of local governments is their own development as suitable for local conditions and meet the demands of their citizens

International Exchanges of local governments to activate local economy beyond a simple and formal friendship of the past.

Efforts to discover measures to break city boundaries transcending boundaries and for promoting the local economy through mutual cooperation.

## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Establishing a golden route between Gwangyang and the Northern China

Building the Northeast Asia Golden route in connection with our 2 exchange cities located in the northeast of China

Creating a new logistics business model to draw mutual cooperation and to vitalize ports by establishing a sea route connecting Gwangyang with the northern China



## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Establishing a golden route between Gwangyang and the Northern China

- The agreement on Letter of Intent for the establishment of a sea route from Gwangyang Port to Yingkou Port in July 2006
- Holding an international forum, seminars, and working-level discussions in each city
- In-depth discussion in the both of the Northeast Asia Development Forum hosted by Shenyang, China in 2009 and the 2010 Gwangyang Port International Forum hosted by Gwangyang City

Creating Business Items for the operation of container ships between Gwangyang Port and Yingkou Port

Golden route will contribute to the promotion of a local economy of the cities involved as well as to the expansion of new cargo volume for Gwangyang Port

## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Opening a sea route for car ferry between Gwangyang and Japan

Planning to open a sea route for car ferry between Gwangyang and Japan

Operating car-ferry between Gwangyang and Japan in Dec. 2010

- 15,000 ton class carrying 740 passengers and 200 TEU cargo shutting 3 times a week - annually inducing 100,000 tourists and transporting 10,000 TEU of Agricultural, livestock and fishery products
- Encourage positive changes in the urban tourism industry and facilitate the local economy



## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### International exchanges with the world's major cities

#### International exchanges with the world's leading port cities

- Expanding the international exchange cities: 10 cities → 20 cities = Port cities and cities related to companies moved in Gwangyang
- Ex) Lumitsutsu, Japan has a similar industrial infrastructure as Gwangyang - International exchanges began in May 2008

Friendship and economic exchanges went on together in areas of business, benchmarking of economic models and correspondence between entrepreneurs.

Export of plums to Japan contributes to pioneering a new market abroad and to increase farmers' income.

## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Gwangyang Plum

- Production amount is 7,922 ton accounting for 28 percent of the total production in Korea in 983 hectares
- Our organically-grown plum, with its high levels of citric acid and excellent taste and flavor, is renowned as one of the best plum in Korea
- Each March, the Gwangyang International plum flower Festival (620,000 tourists visited)



## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Participation in the International Event held in sister and friendly relationship cities

Participation in the International Exhibitions and Events held in sister and friendly relationship cities

- Pursuing friendly exchange along with economic exchange through city promotion, the attraction of foreign investment, and investor relations
- Achieved successful results in two events: the International High-Tech Fair in Shenzhen, China and China International Fair for Investment & Trade in Xiamen, China



## III. Gwangyang's cases in International exchange and cooperation with other cities

### Participation in the International Event held in sister and friendly relationship cities

Participating in the International High-Tech Fair held in Shenzhen, Nov. 2010

- The exhibition and explanation of the results of our municipal U-IT research center
- Pioneering the global market and attracting investment
- Promoting our city as a home for tourism, industry, and ports
- Promoting local products by citizen's participation
- Exhibition, Beverage tasting, Finding Market
- Mutual Cooperation between cities is important in improving the image of both the city and local industry



#### IV. The proposal of economic cooperation through exchange between member cities

##### ● Increasing exports of products of local cities

Pioneering the global market and increasing exports to strengthen the competitive edge of local products in the world market and to expand the market

- Need to improve productivity and industrial techniques and increase international exchange in the three factors such as capital, technology, and human resources
  - Equipped with capacity and products of low price and high quality in the global market



#### IV. The proposal of economic cooperation through exchange between member cities

##### ● Increasing exports of products of local cities

- Promoting competitiveness of the products by highlighting their own distinct cultural traits, originality, and locality - Finding products promising for exports
- Establishing an interactive cooperation system to provide the opportunity for exchange, advertising products, exchanging information, attracting outstanding human resources, and supporting business activities for exchange cities.



#### IV. The proposal of economic cooperation through exchange between member cities

##### ● Operating sales halls or booths for export and import goods

Dispatching a private-public cooperative group for global market pioneering to find promising products for import and export

- Joint pursue to find the long-term measures
  - Establishing permanent exhibition halls or booths in exchange cities
  - For selling specialties produced in exchange cities at retail outlets or department stores



#### IV. The proposal of economic cooperation through exchange between member cities

##### ● Cooperation in creating cargo volume between ports

Creating a profitable distribution model to connect each ports

- Develop direct sea-routes, building networks, exchange of human resources
- Joint efforts to persuade both manufacturers and logistics of member cities to move into the hinterland of the container terminal
- Work to reveal the needs on research on route of distribution areas, IT and network ports and water-related function investment

